



ツアー客や行楽客で賑わう那珂湊駅(10/20)



第151号

勝田 | 阿字ヶ浦

# 「統合校」開校に向けて乗車検証

## 湊線通学約360人想定

平磯一磯崎駅間に2021年4月に開校する、小中5校一貫の「統合校」の開校準備のひとつとして、10月18日に平磯小学校の児童216人が平磯駅から登校乗車の検証をしました。

統合校は旧平磯太陽観測センター付近の市道沿い現況畑地の5万8400㎡に建設が始まりました。市教育委員会の「統合校基本構想」によると、児童生徒は将来500人前後で推移すると見込まれ、その約7割程度、開校時には364人が湊線通学となり、近くに建設される新駅の利用が想定されています。

登下校時には一度に大勢の小中学生が利用することから、駅ホームの安全対策や乗降にかかる時間の検証がこの日の目的でした。

平磯駅ホームには乗車位置のマークがテープで貼られ、付添の先生が見守る中、海浜鉄道職員らが乗車時間のチェックなどを行いました。この乗車検証は順次各校でおこなわれました。

新駅の工事は来年度から始まり、開校に合わせて開業します。統合校の完成予想図と湊線新駅(左上)



平磯駅ホームでの乗車検証



初詣・初日の出は湊線で  
急行あじがら号・快速なかみな号運行  
あじがら号 前売り乗車券12月1日(日)より発売

## インターンシップで学んだこと

大学の夏休みの期間中、海浜鉄道には県内外から5人の3年生がインターンシップ(就業体験)に訪れました。注目される企業の1つとなった海浜鉄道で何を学んだか、参加した2人に寄稿してもらいました。

東洋大学国際観光学部 3年 菊池勝之さん

最初にインターンシップ実施の情報を見たとき、「湊線がインターンをやめるのか!」と驚いた覚えがあります。地元・日立からほど近い、あの湊線で出来るのかと思うと、始まる前からワクワクしていました。私は8月23日から5日間、湊線でのインターンシップに参加しました。その期間中には八朔まつり、MMM(みなとメディアミュージアム)など、興味深い出来事が盛り沢山。設立の経緯、地域とのつながりなどを学び、湊線の魅力に改めて気付かされることもありました。気づけば3日目あたりには、行き帰りで必ず通る中根の田んぼが「いつもの光景」になっていました。何だか不思議な気持ちです。



鉄道の仕事といえば、駅員さんと運転士さんが真っ先に思い浮かぶのではないのでしょうか。ですが、その裏では日々車両や線路の整備をしたり、本社でいろいろな業務を進めたりと、お客様から見えないところでたくさん動きがあります。知っていたつもりでも、見るとやるとでは大違い。こんなことまでやるのか、そういう発見もありました。

社員さんはたったの30人、車両はたったの8両、その中で年間100万人を運ぶ湊線のスゴさ、5日間で改めて実感しました。現在は、この貴重な経験を大学に持ち帰って、所属するゼミでさらなる活動へつなげようとしています。

就職だって大企業ばかりじゃない、小さくても元気な地元や地方の会社だっていいじゃないか。大きな刺激と沢山の経験を得た湊線に、また何かしらの形で関わっていただければと思っています。

茨城キリスト教大学 3年 根本浩汰さん

私は8月に行われた、ひたちなか海浜鉄道のインターンシップに2日間参加させていただきました。私自身、ひたちなか海浜鉄道のインターンシップに参加するのは、2月の会社業務のインターンシップに引き続き2回目です。今回は、改札や資料の仕分け作業などを体験させていただきました。



今回は、ひたちなか海浜鉄道と地域の連携による活性化について学ばせていただきました。中でも、特に印象に残ったのは、吉田社長の講話です。海浜鉄道は、ローカル線ならではの地域との連携が強く、おらが湊鉄道応援団や那珂湊焼きそば大学院、また近くの高校などとの結びつきなどの話を聞くことができました。私も、高校・大学の通学に海浜鉄道を利用させていただいています。その頃から、地域との連携が強い鉄道であると思っていましたが、廃線の危機に直面した時や2011年の東日本大震災の時に市民の方々が存続を希望し、いろいろな活動を行ってくれたそうです。このように、地域に愛されるローカル鉄道であるひたちなか海浜鉄道を、これからも精一杯応援させていただきたいと改めて思いました。

また、前回のインターンシップは1人でしたが、今回のインターンシップでは、県外の大学生4名と一緒に行動しました。自分の通う大学以外の大学生と話すのはとても新鮮でした。同年代として刺激ももらいました。私は、今大学3年生なので、残りの大学生活も海浜鉄道と共に走り抜きたいと思います。



## キハ205再登場

国内最古参のディーゼル車として人気の「キハ205」が車検とお化粧直しを終えて、10月20日夕方、勝田-那珂湊間の区間運転に1往復ながら定時運行で登場しました。オレンジとクリーム色の鮮やか車体は秋の田園風景にベストマッチ。沿線を訪れた鉄道ファンを魅了しました。

## 夜を徹して踏切新設工事

10月14日夕方から翌朝まで、区画整理事業地の道路新設に伴う「電話局踏切」拡張工事が夜間実施され、14日は列車代行バスが運行されました。おさかな市場や商店街にも近いこの踏切付近にも新駅の構想があります。※まだ踏切の通行はできません。



## 高田の鉄橋駅付近が浸水! 13日夕方まで運休

台風19号の影響で、湊線は10月12日午後から計画運休、13日は那珂川に注ぐ中丸川の氾濫で高田の鉄橋駅付近のレールが数百mに渡って冠水し、夕方まで運休を余儀なくされました。

## ハマギクが見頃です

秋の訪れとともに、ハマギクが沿線各駅で見頃です。ここ阿字ヶ浦駅をはじめ、殿山、那珂湊、中根駅などで沿線自治会のみなさんらが、開花時期に合わせて春から下草刈りなど手入れをしてくれておかげです。



## おもな秋の湊線沿線イベント情報

期 日	イ ベ ント	会 場
10/31(木)~11/10(日) ※11/5~7休み	虎塚古墳石室壁画秋季一般公開	中根駅より徒歩30分
11/2(土)・3(日)	ひたちなか市産業交流フェア	ひたちなか市総合運動公園
11/4(月)~12/22(日)	那波多目功一展	市役所那珂湊支所
11/9(土)・10(日)	那珂湊コミまつり・平中学区しおさいまつり	那珂湊コミセン 平磯コミセン
11/10(日)	わんわんライド湊線	湊線
11/10(日)	勝田駐屯地開設68周年記念行事	陸上自衛隊勝田駐屯地
11/16(土)	サイクリングDEひたちなか	市内一円

野菜と干物の朝市 ■11月3日(日) 午前9時~11時頃まで  
毎月第一日曜日に開催 ■那珂湊駅1番線ホーム ※ホームへの入場は無料です。

## 218枚の絵手紙を展示

10月21日まで1週間、夏の間湊線車内を飾った絵手紙展が勝田駅前の市民ギャラリーで開催されました。



## 駅的环境整備 いつもありがとうございます

駅名	11月3日(日)	12月1日(日)
中 根	柳沢美田多・相金・三反田班	
高田の鉄橋	柳が丘・関戸町・田中町自治会	
那珂湊	小 川 龍之口町	神敷台 部田野小谷金 十三奉行
殿 山	七町目・牛久保町	和田町・殿山町
平 磯	平磯・平磯清水町自治会	
磯 崎	磯崎町自治会	
阿字ヶ浦	阿字ヶ浦自治会	

※朝8:30(中根駅と、高田の鉄橋駅は8:00)から実施します。

湊線沿線の「いま」がわかる! 応援団facebookページ「いいね!」9,140名を達成しました!

【海浜鉄道関係】  
◇ホームページ <http://www.hitachinaka-rail.co.jp/>  
◇ツイッター <http://twitter.com/minatoline>  
【応援団関係】  
◇フェイスブック <http://www.facebook.com/MinatoLineSupporters>  
◇ツイッター <http://twitter.com/keha601>  
◇応援団HP <http://minatosen.com>(湊線どっと混む)  
※「ひたちなか海浜鉄道」「おらが湊鉄道応援団facebook」でそれぞれ検索もできます。

「応援団報」カラー版を  
パソコンでご覧ください

那珂湊地区で回覧にご協力いただいている「応援団報」は墨1色刷りですが、応援団ホームページ(<http://minatosen.com>(湊線どっと混む))には、フルカラー版を毎月末にアップしています。パソコンから自由にダウンロード=印刷もできます。ぜひご覧ください。また、配布も自由です。

## 「乗車証明書」でおトク!

- ★乗車証明書は、湊線に乗車したお客様に駅員または応援団が発行する乗車特典のサービスです。証明書を参加店舗に提示することにより各店独自の優待が受けられます(スタンプ当日限り有効)。現在沿線100店(施設)近くが参加し、お買物や宿泊などで優待があります。
- ★サービスは乗車当日なら、何店でも利用できます。
- ★参加店は那珂湊駅待合室に置かれたチラシ、証明書に印刷されたQRコード、海浜鉄道HPまたは応援団facebookページでご確認ください。
- ★乗車証明書裏面に印刷されたQRコードで湊線時刻表と応援団facebookページも確認できます。
- ★乗車証明書は湊線フリー切符でも代用できます。

